

特別な場所

当仙台宣教センターにてバイブルカフェを開催します。と言いましても飲食は難しいと考えていますから、マスク着用をして参加をお願いします。

バイブルカフェを開催する理由に、やはり人間とは繊細^{せんさい}であって表現や仕草などで言葉を受け取り、感覚全てを通してコミュニケーションとると考えます。ですから対面することも重要で、聖書のことを伝える時も擬似的^{ぎじてき}聖書体験をして頂くことで身近なものとなる考えます。

またひとりで聖書を朗読、考察^{こうさつ}しても限界があると思われまます。また私たちは、自分が考える、思うことを礎として物事を捉えます。それが時には全く見当違いなものとして捉えイメージが変わる事があります。それが解釈に大きく影響を与えるものです。ですから、そのことの確認も兼ねて特別な場所となるようにカフェを開いて確認する機会となればと思います。

バイブルカフェはおおよそ30分ほどのお話と交流時間を持ちます。合計1時間程度とさせていただきます。

テーマは「特別な場所」とさせていただきます。

1月8日(日)午前10時よりはじまり、何回かに分けてお話をします。

それが下記の通りです。

1. 預言者^{よげんしゃ}の役割、そして現在の神さまのおことば
2. 特別な場所
3. あなたの日常も特別に

1. 預言者の役割、そして現在の神のことば

新訳聖書には「ルカ 16:16 律法と預言者は、ヨハネの時までである。」と書いてあります。まるで洗礼者ヨハネをもって終えたように思える記事となっています。果たしてどうなのでしょう。これを語ったイエスは、誰に向けて語られたのでしょうか。答えはお金^{しゅうちやく}に執着するファリサイ派の人々です。彼らは律法を厳守する立場の人たちです。さらに神様の意思を伝達する立場です。つまり預言者です。その彼らが誤った捉え方をして、自分の生き方を正すこともせず、神様の偽った意思を伝えていました。その中でも、イエスさまが、なぜここに来られたのかの意図も分からず、今までの預言者の伝達をことごとく無視した発言と行為にピリオドを打たれた。つまり古い契約(旧約)はここまで(十字架の出来事を指す)と言われたのでした。＜ヘブル書10章を参照する＞古い契約の終点とは、動物の生贖行為^{いらえほう}です。結局は生贖を捧げる行為のみで真に悔い改める姿勢(心)は持ち合わせませんでした。ミカ書6章を参照して下さい。次に律法の細かい規定です。つまり細かい厳守は、都合の良い解釈^{ともない}を伴い正しく受け止め実行する事が出来ませんでした。それがルカ書16章の解説となります。イエスさまの誕生により新しい契約、あらためて律法から伝えられるわかりやすい教え(原則、ルール)と、十字架による完全な捧げものと復活の約束のフルセットが契約となります。ですから、それからの伝達は新しい契約を伝え、契約を守るための預言となる必要性があります。

- (1) 旧約時代の預言者の役割とは、神様の言葉を何らかの形(夢・しるし・超自然的ことば)で受け取り人間に伝えることでした。それが新約時代の預言者は、聖書や聖霊によって受け取り語るようになります。
- (2) つまり対象者は自分や個人に対して語り教えられます。あるいは国(王)に対しても語り、神様の意思を伝えます。
- (3) ですが、私たちは知っておきましょう。聖書には偽預言者の存在もあることを。偽預言者はイエスさまの愛から切り離すことであり、隣人を呪わせる話であることを指します。とくに平和の調和を崩す存在です。次の御言を参照しましょう。

2. 特別な場所の設置

- (1) 祭壇を設置した
- (2) 神殿が建てられた
- (3) 集会が行われた ヘブル書10章25節

3. あなたの日常を特別に

- (1) 手助けとなるように、バイブルカフェを開催しようと考えています。
- (2) 特別な場所としての提供は、聖書を語る・訊く場所となります。
- (3) 私も含めて

新改訳聖書より

【引用した聖書箇所】

ルカによる福音書16章16節

"律法と預言者はヨハネまでです。それ以来、神の国の福音が宣べ伝えられ、だれもが力づくで、そこに入ろうとしています。"

ヘブル人への手紙 10章1～10節

"律法には来たるべき良きものの影はあっても、その実物はありません。ですから律法は、年ごとに絶えず献げられる同じいけにえによって神に近づく人々を、完全にすることができません。それができたのなら、礼拝する人たちは一度できよめられて、もはや罪を意識することがなくなるので、いけにえを献げることは終わったはずで、

ところがむしろ、これらのいけにえによって罪が年ごとに思い出されるのです。

雄牛と雄やぎの血は罪を除くことができないからです。

ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだを備えてくださいました。

全焼のささげ物や罪のきよめのささげ物をあなたは、お喜びにはなりませんでした。

そのとき、わたしは申しました。『今、わたしはここに来ております。巻物の書にわたしのことが書いてあります。神よ、あなたのみこころを行うために。』」

以上のとおり、キリストは「あなたは、いけにえやささげ物、全焼のささげ物や罪のきよめのささげ物、すなわち、律法にしたがって献げられる、いろいろな物を望まず、またそれらをお喜びになりませんでした」と言い、

それから、「今、わたしはあなたのみこころを行うために来ました」と言われました。第二のものを立てるために、初めのものを廃止されるのです。

このみこころにしたがって、イエス・キリストのからだは、ただ一度だけ献げられたことにより、私たちは聖なるものとされています。"

ミカ書 6章6～8節

"何をもって、私は主の前に進み行き、いと高き神の前にひれ伏そうか。全焼のささげ物、一歳の子牛をもって御前に進み行くべきだろうか。

主は幾千の雄羊、幾万の油を喜ばれるだろうか。私の背きのために、私の長子を、私のたましいの罪のために、胎の実を献げるべきだろうか。

主はあなたに告げられた。人よ、何が良いことなのか、主があなたに何を求めておられるのかを。それは、ただ公正を行い、誠実を愛し、へりくだって、あなたの神とともに歩むことではないか。"